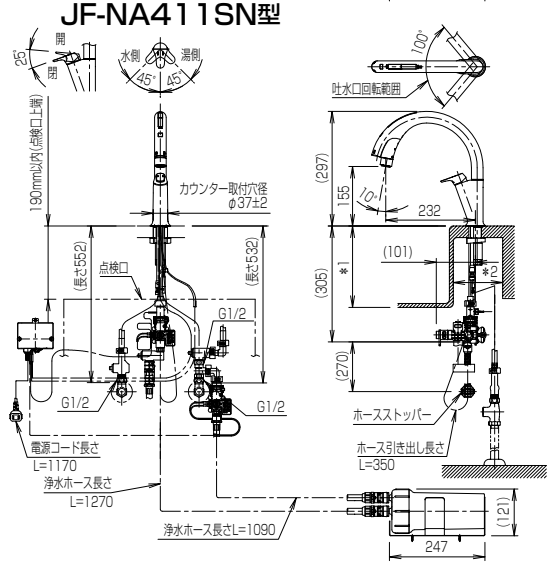
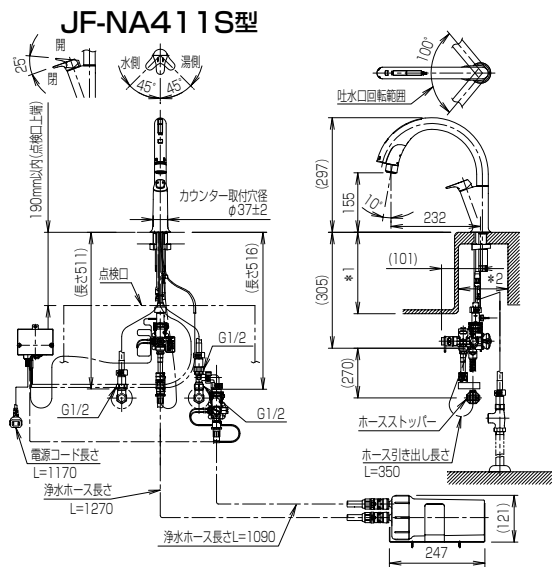
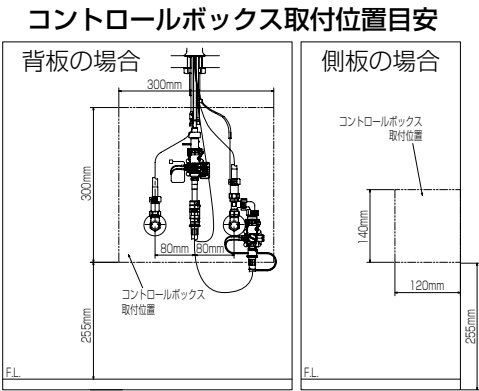


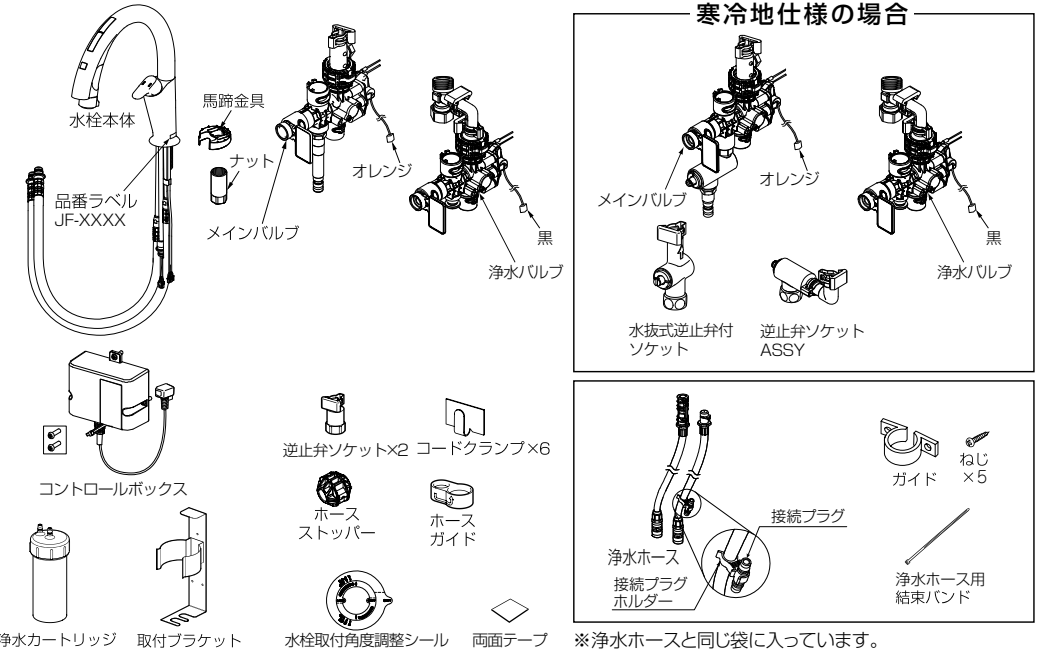
施工完了図



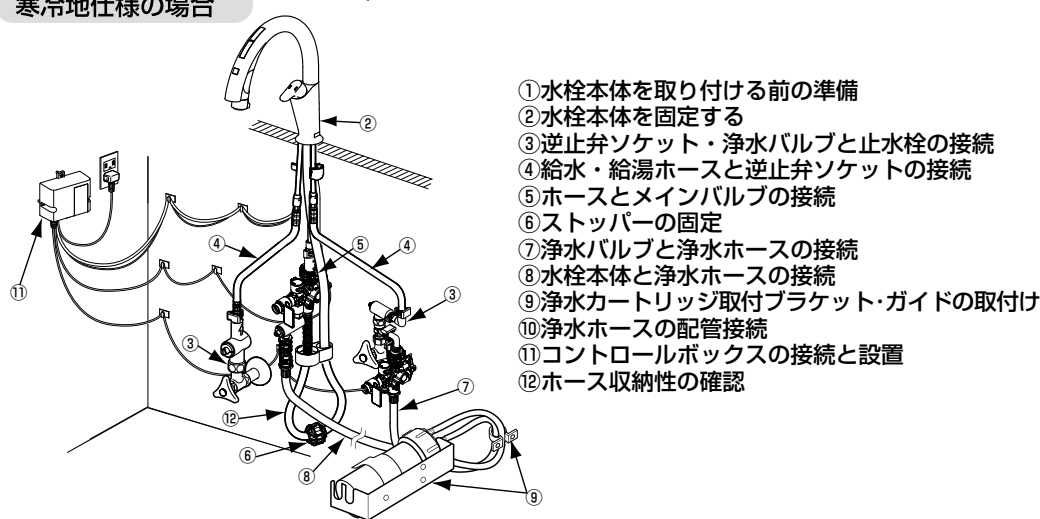
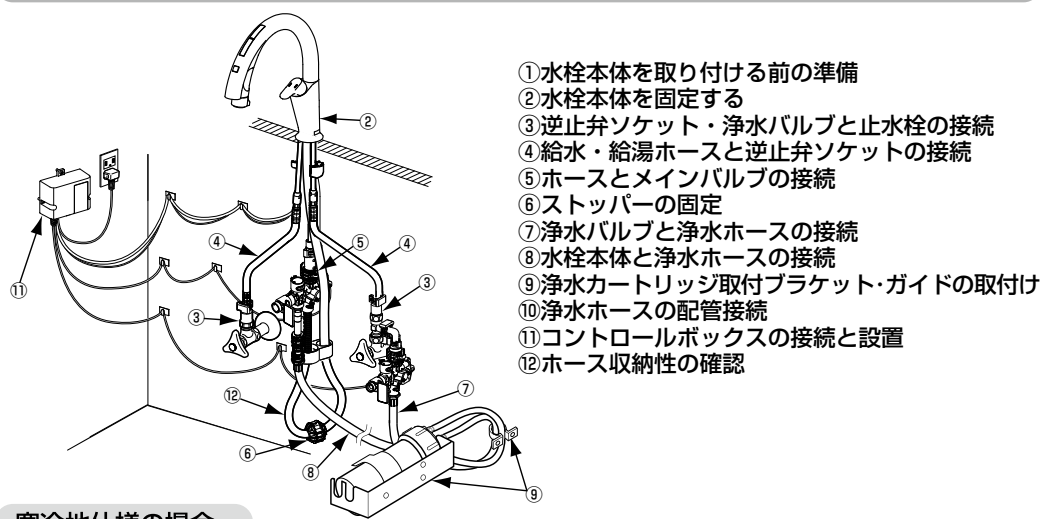
- 品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
- シンク深さ(厚み含む)*1寸法が220mm以上の場合は*2寸法が145mm以上ないと、バルブがシンクと干渉し施工できません。*1寸法が220mm以上かつ*2寸法が145mm以下の場合は当社お客さま相談センターまでお問い合わせください。
- 水栓取付面から上方425mmより低い位置に棚や物がある場合は施工できません。
- 使用時には、375mm以内に他器具（昇降キャビネットの取っ手を含む）のないようにしてください。
- 水栓取付面からシンク下の底板（棚板）までの距離が540mm以上ないと、ホース収納時に底板（棚板）との干渉が大きくなり、使用上問題はありますが、ホース収納性が悪くなります。
- コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。



部品の確認



2. 施工手順



3. 施工方法

以下の手順の通り、正しく取り付けてください。
水栓をシンクの中央に取り付ける場合は、②の手順から始めてください。

- 1 水栓本体を取り付ける前の準備

※自動センサーの誤感知防止のためシンクによって水栓本体の取付角度が異なります。

1. シンクの水栓取付穴の前面にマジック等で印をつける。

2. 水栓本体をシンクの左側に取り付ける場合は水栓取付角度調整シールの、③左側取付時の矢印と①で付けた印を合わせてシールを貼る。右側に取り付ける場合は③右側取付時の矢印と①で付けた印を合わせてシールを貼る。

3. シールに記載の④のつまみからミシン目に沿ってシールをはがす。
- 2 水栓本体を固定する

1. ホースの先端が固定軸の中に隠れるまでハンドシャワーを引き出す。

注意

落下注意
傷や破損の原因になります。

落下注意
先端のキャップはそれぞれ接続する直前まで外さないでください。
※Oリングに傷がついたりゴミがこみ込むことで漏水の原因となります。

2. センサーコードを先に水栓取付穴に挿入し、続いて給水・給湯ホースを挿入する。

ポイント

ホースの先端が固定軸の中にかくれた状態で取付穴に挿入する。

注意

センサーコードをはさまないようにしてください。
※コードが破損し、発火・ショート・感電の原因になります。

3. 水栓をシンクの中央に取り付ける場合
水栓本体に貼ってある正面シールの矢印が正面に向くように位置決めをする。
※水栓取付角度調整シールは使用しません。

水栓を右(左)側に取り付ける場合
『シンク別取付角度一覧』にて、施工するシンクの記号を確認する。※水栓取付角度調整シールに記載の⑤の矢印（先ほど確認した記号の矢印）と、水栓本体に貼ってある正面シールの矢印があうように位置決めをする。
※シンクの種類はキッチン本体の資料（見積書または簡易施工図など）を参照してください。

シンク種類	取付角度
A ひろひろキレイ・キレイ ひろひろラクリー	15°
B ラクリー センターポケット ハイブリッドクォーツ	25°
C ラクリーコンパクト ダブルサポート スキット	35°
D ラウンド68	40°

『シンク別取付角度一覧』

4. 馬蹄金具を固定軸に挿入してナットで仮固定する。水栓本体が取付穴の中央にくるように注意する。

ポイント

●固定軸にキー溝（大、小）があるため、馬蹄金具をキー溝に合うように取り付ける。

●馬蹄金具から手を離しても落ちてこないように、一時的に固定軸に引っ掛けられるようになっています。

●馬蹄金具・専用工具が入りにくい場合は、銅管を曲げて銅管とナットの間にスペースを作ってください。（曲げ角度は5°以内のこと。）
※曲げすぎると配管を傷つけ漏水の原因になります。

注意

●センサーコードをはさみ込んだり、引っ張ったり、銅管にからませないでください。
※コードが破損し、発火・ショート・感電の原因になります。

●別売の専用工具（KG-1またはKG-2）もしくは市販のソケットレンチ（対辺24）を使用してください。
※ナット締付不足によりガタつきやキャビネット内への漏水の原因となります。

5. 吐水口を左右に回転させ、シンク外に吐水口が出ないか確認する。

注意

シンク外に吐水口が出るとカウンターを感知し、自動吐水する場合があります。